

生活新聞

281

Jun.22.1998

★不況下の消費のモチベーションを考える

す

すっきりしたい

す

すてきなひとときをもちたい

す

すべきことをちゃんとしたい

の生活

■暮らしの
豊かさ感に関する調査
98年3月実施
首都40Km圏
18才～74才の男女個人
男性168人・女性208人
：合計376人

生活者は半歩豊かな「す、す、すの生活」をめざす

不況下の豊かな生活願望から、消費のモチベーションを考える

よく、日本は豊かだといわれます。どうしてでしょうか。日本は経済大国だから？ 貿易収支が黒字だから？ 貯蓄資産が1200兆円もあるから？ 家電製品など便利なモノをたくさん持っているから？ 高級ブランド品が好きだから？ 不況下にありながら1700万人が海外旅行をするから？……。豊かだといえる理由を日ごろ伝えられる情報から探すとこうなります。

では、日本人の生活実感は豊かなのでしょうか。例えば自分の生活で考えてみる限り、私の毎日は確かに豊かだと胸を張れる人は意外に少ないのではないかと思います。だとすれば、巷間いわれる豊かさと生活者の生活実感との間にズレや思い違いがありそうです。

その原因は、今の日本の生活者がどんなことを「生活の豊かさ」と考えているのかがいまひとつ不明快なことです。あるいは、高度成長期からバブル経済に至るまでの「生活物資のレベルアップ＝経済指標のレベルアップ＝豊かさのレベルアップ」といった単純な図式的記憶が、強く残っているからかもしれません。

そこで、今の生活者がどんなことを「豊かさ」と考えているのかを知るために、「自分の暮らしの豊かさ感のアップにつながると思うもの」について調査してみました。

結果をまとめてみると「す、す、すの生活」でした。もっと「すっきりできること」、もっと「すてきなひとときをもてること」、もっと「すべきことをちゃんとする」ことが、生活者が暮らしの豊かさ確保に不可欠と考えているのです。

そこには、生活上の必要性や利便性といった具体的、物質的なメリットだけでなく、もっと大きな暮らしぶりへの願望が表れています。いいかえれば、それは生活者が今、是非とも手に入れたいものであり、生活者自身が感じている魅力的な暮らし方へのモチベーションそのものなのです。そしてさらに、その願望を知ることは、昨今の懸案といわれる不況下の「個人消費のモチベーション」を知ることもつながるのです。

明るい生活の素 ～衣食住編

(A) 明るい生活の素	(B) 得られる気持ち	(C) 一番の魅力点	(D) 対照的に思うものは	(E) 不足はダメ	(F) 過剰はダメ	(G) 最適な生活TPOは
●19才：自分でつくったごはん	満ち足りた	安全	コンビニ弁当	香辛料	食品添加物	好きな人々と一緒に食べる
●21才：母の手料理	ホッと、そして元気に	あったかい、ホット	フランス料理のフルコース	愛情	手間	高くてまずい料理が出た時
●21才：お風呂に入る	辛さや悲しさが減って幸せ	リフレッシュできる	テレビを見る	時間	回数	疲れたり気持ちが沈んだ時
●25才：思い通りに作った自室	異国のホテルにいるよう	日常から離れて落ちつく	雑誌に載ってる部屋	掃除	荷物	完全に片づけ終わった時
●35才：インテリアを考えること	ホッと	自分好みの部屋づくりができる	いろんな風味	センス	買い物	友人などにほめられた時
●37才：たまのぜいたくな夕食	リッチ	時間とお金をたっぷり使う	いつもの焼鳥屋	ワイン	出費	何もないうちにひよいと行く時
●42才：食生活のおかずの品数	こころ豊か	色とりどりでいろんな味	おやつ類が多い	魚類、野菜類	肉類	給料日前の1週間
●51才：バラエティーに富んだ食生活	落ちついた雰囲気	自分に最適なバランスを考える	外食	いろいろ	砂糖、塩、油の量	外食や一人食事が続いた時
●54才：バランスのよい手作り料理	家族の健康を担うプロの主婦的	安心	店屋物、旅館の食事	愛情と工夫	疲労感	旅行など外食が続いた時
●57才：料理	創造性豊かに、前向きに	手をかけたなりに、簡単なりに	他の家事	食材	香辛料	お客がおいしいと喜んでくれた時
●63才：山、海のみえる住まい	ストレスを取り、ゆったりと	自然	人の多い街中	山に木	海に人	シーズンオフ
■22才：あたたかいお風呂	ゆとりを感じさせてくれる	お湯につかって物思いにふける	シャワー	お湯	人	泥だらけで一週間入ってない時
■27才：広い風呂	旅行にでも行ったよう	開放的	こたつ、ふとん	大きさ	注文	人混みに一日中いるような時
■30才：休日の家族との夕食	ゆったり、やさしい	家族でわいわい	外食	お酒	人数、お客	一週間夜遅く、一人での夕食の時
■56才：田舎暮らし	心豊かで、あたたか	青い空、広い視野、おだやか	街の便利さ	山や川	広い道やコンビニ	おだやかに野原で昼寝している時
■56才：居住空間の向上拡大	のんびり、ゆったり	プライバシーが十分	給料アップや自家用車	経（麻）	金をかけすぎ	家族でくつろぐ時に

(●=女性 ■=男性)

※こう読もう： Aで私は(B)な気持ちになれる。

Aは(C)なところが一番魅力で、(D)なんかよりもずっといい。

Aは(E)が足りなくても(F)が多すぎてもいけないが、(G)な時が最高だ。

●「す、す、すの生活」は明るい生活の素

調査では、自分の暮らしの豊かさ感をアップさせるものと、その最も大きな魅力点やTPO、過不足の条件など、豊かさの状況を具体的に自由記述で聞いています。もちろん回答はさまざまでしたが、各ページの下半分にはいくつかの分野に分けて、その代表的な回答を並べておきました。回答量順ではありません。

回答をじっくりみてみると、豊かさの条件がよくわかります。生活者が手に入れたい生活風景や情景が、しっかり伝わってきます。また、即物的な回答はあまり多くありませんでした。むしろ気持ちの問題解決の方が中心にあります。ただし、それは単なるイメージではありません。自分自身が望む豊かさの中心にモノを置かない、つまりモノの豊富さに豊かさをゆだねないという意志にみえます。モノはあくまで深い脇役としての存在感。「す、す、すの生活」は自分の暮らしを楽しくしたいという生活者の気持ちの表われであり、不況下の「明るい生活の素」でもあるのです。

①すっきりしたい

「明るい生活の素」をみていくと感じられる共通した想いのひとつは、「すっきりしたい」という願望です。心身の疲れをとってということもあるのですが、それ以上に気持ちの上で新鮮に、はつらつと、元気になりたい（ありたい）という欲求です。

お風呂で気持ちをリフレッシュする21才の女性や、友人達とのつきあいで若々しい気分や陽気さを手に入れる43才の女性。もちろん趣味に没頭するというのもその気持ちの表れのひとつです。そこには、日ごろの生活でのストレスの大きさを感じます。また、場合によっては自分の趣味ですらも、頭を悩まし、気持ちを縛ってしまうものであることがわかります。

ただし、疲れやストレスを単に癒せばいいというのではなく、もっと前向きな気持ちになれる、すべてをいったん白紙に戻せる、といった積極的な「すっきり」が望まれているのです。この欲求に、日常のモノやサービスは応えているのでしょうか。

▼ 明るい生活の素 ～ヒト編

(A) 明るい生活の素	(B) 得られる気持ち	(C) 一番の魅力点	(D) 対照的に思うものは	(E) 不足はダメ	(F) 過剰はダメ	(G) 最適な生活TPOは
●21才：好きな人ができること	何事にも前向きに行動的に	きれいになろうという気になる	同じような毎日を淡々と過ごす本当の自分の気持ち	期待ばかり	自分が変わりつつあると感じる時	
●23才：友達や家族との食事	明るい、やる気おきる	楽しい	一人であること	会話	知らない人	一人での食事の時
●27才：素敵な人達との交流	このままで満足してはいけない	人の人生を一面でも感じられる	ファミコンやカラオケ	刺激	気遣い	孤独を感じる、やるせない時
●28才：美しい仲間と飲んで語る	素直な	自分の心が裸になれる	驚愕して自分を高くみせる	うちとけた仲間	きづかい	年や経験、仕事異なる仲間の時
●29才：私を真剣に考えてくれた言葉	すべてに前向きで積極的に	思いやりがあってあったか	おせじ	愛	愛	落ち込んでどんよりした状況
●32才：子供	悩みもするが全体に幸せ	型にはまらず個性に対応する	ディンクス	元氣	わがまま	必要なものが買えない時
●35才：やさしい言葉	暖かく、元氣	愛がいっぱい詰まったラブ	高価なもの	気持ち	干渉	気が弱ってる、体調がブルーな時
●36才：いろんな人との出会い	前向き	いろんな発見があって新鮮	家の中でやる趣味	愛	愚痴	人に傷つけられたような時
●43才：友人達とのつきあい	若々しい気分、陽氣	素の自分を出せて何でもいいえる	雑理でつきあう人達	会話	ぐち	子供や家の事でストレスがある時
●45才：夫と子供	幸せ	私を大切に思い愛してくれてる	友人の家族	愛と思いやり	けんかや中傷	悩んでる時、落ち込んでる時
●46才：ペット	楽しく心地よい	可愛い、天衣無縫	趣味	元氣	いたづら	淋しい時
●57才：友人との情報交換	笑いや喜びの公園の中にいる	世の流れや人の気持ち分かる	友達のない人たち	笑い	けんか	軽しく、淋しい
●58才：ボランティアでの人との関係	まだ私にもできることがある	いろんな考え方の人との出会い	金銭的豊かさ	こころ	気負い	気持ちにゆとりがある
■22才：友人関係	楽しく安心、支えてくれる	非常に楽しく、ほっとする	一人でボーッとしている事	信頼関係	家に礼儀	楽しい時間を皆で共有してる時
■25才：子供と一緒にあそぶこと	おだやか	自分も子供に帰れる	パチンコ	おもちゃ	おかし	10代の子がナイフで人を傷つける時
■32才：休日の子供との散歩	リラックスして幸せ	きまま	旅行	時間	時と場の制約	ふさがちな時
■38才：思いやりの態度や気持ち	リラックス、心が温か	心をなごませてくれる	物のプレゼント	愛情	こごと	仕事で疲れている時
■39才：家族	安心	元氣で明るい	物や環境	元氣な明るさ	時間がバラバラ	家の中に一人である時間が長い時
■52才：家族での団らん	外での緊張感から、楽な	個々人の生の姿	外食や飲み会	全員がそろわない	他人と一緒に	病気で落ち込んだ時
■55才：仕事仲間	働く楽しさ、厳しさ	同じ目標	あそび仲間	ファイト	自信	自分がピンチな時

(●=女性 ■=男性)

②すてきなひとときをもちたい

この「すてきなひととき」に対する欲求はかなり数多く、またその種類もいろいろありました。時間そのものに対する欲求は当然としても、数多かった旅行や趣味、そして人との関係においても豊かさのキーとしてあげる人が多かったのです。具体的な言葉としては「ゆったり」「のんびり」「やすらぐ」「なごやか」「やさしい」などがあげられます。

現代人の忙しい毎日と生活上の現実を考えれば、これもただやみくもに自由な時間があればいいといった欲求ではないでしょう。短い時間でもいいから、日常から切り離された心理的な満足を確保したいのです。

時間という生活資源を考えてみれば、経済的な束縛に比べてかなり自由になります。だから、今後ともこの「すてきなひととき」欲求は大事になるでしょう。これまでの時間消費は、手間の短縮の観点から語られていたように思いますが、どんな素敵なひとときを提供できるかという視点が魅力を左右しそうです。

③すべきことをちゃんとしたい

日常のなにごとにもより便利に済ませたい。気持ちにも時間にも、できるだけ手間をかけずに済ませたい。そんなモノやサービスが受け入れられていることは、コンビニの隆盛などから考えても明らかでしょう。

しかし、だからこそというか、あえて本来あるべき手間や手順をきちんとふみたい、そんな生活の豊かさが欲しいという声があります。これは、便利は便利でいいとしても、生活には便利だけでは決して満足できないものが確実にあるという指摘でもあります。

衣食住や仕事は人の生活の基本ですが、だからこそいろいろなところで便利化がかなり進んでいます。

「すべきことをちゃんとする」欲求が、この二つの分野に多いのも自然なことでしょう。考えてみると、便利というのは気楽な一方でイメージに流れやすく、人々から気概ややりがいを見失わせることもあります。元気にはりきる気持ちが豊かな生活には必要なことだという想いには、素直にうなづけます。

明るい生活の素 ～時間編

(A) 明るい生活の素	(B) 得られる気持ち	(C) 一番の魅力点	(D) 対照的に思うものは	(E) 不足はダメ	(F) 過剰はダメ	(G) 最適な生活TPOは
●19才：さんぽ	ほんわかするような	思ったまま自由にできる	家でテレビを見る	時間	人数	いろいろ考えたい時
●20才：自由な時間	ゆったりと落ちついた	自分のしたいようにできる	ムダなつきあいの時間	刺激	ヒマ	楽しい時
●27才：一人で海をボーと眺める	リラックスリフレッシュ優しい	気持ちをいやしてくれる	疲れて寝ること	少ししか見えない	雑音	何もかもに疲れた時
●31才：自由な時間	豊かなゆったりしたほっとした	行動を起こしたり考えたり	お金や地位	余裕	ひま	忙しいけどやりたいことがある時
●32才：一人で自由になる時間	リラックスとゆとり、大きな	何をしてもよい	家事労働時間	自由	干渉	家族とあまりにずっといすぎる時
●41才：自分の自由な時間が十分ある	ゆったりとしてリッチ	自由	経済的に豊か	時間	あっという間に	時間が短切れて1日が終わる時
●43才：一人でゆっくりとお茶時間	ゆったりした、おだやか	落ちついた気持ち	つきあいのお食事会	おいしいお菓子	ひまな時間	家族に襲われる時間が多い時
●49才：ゆとりある時間	まわりの人達にも優しくできる	自分を見つめる	海外旅行	心	賢沢	太陽の下で自然と向き合う時
●52才：ゆったり流れる時間	とてもやすらいだ	疲れない気楽	それなりに充実した時間	息を抜くとき	あくび	追いかけてられているような時
■21才：広場、公園での一人の時間	のんびりした、余裕のある	日当たりがよく、広い	遊園地、カラオケ	広さ、面積	周囲の建物、人	時間に追われる生活をしている時
■22才：喫茶店で一人でくつろぐ	自由を満喫しているよう	優雅な気分になれる	大勢で酒を飲みに行く	ゆっくりする時間	出費	忙しい生活を送っているような時
■24才：休日が多くなること	ゆっくり納得するまで考える	人間らしく生きられる	金や名声を得る	使える金	残務処理	忙しくて死にそうな時
■27才：ゆとりのある時間	穏やか	お金で買えない	高価な物	物静かさ	無駄	仕事で首がまわらない時
■30才：休日	涼	朝露坊	お金	自由	日数	多忙
■30才：家族との休暇	元気	皆が喜んでくれる	ギャンブル	愛	ローン	仕事に追われる時に
■31才：のんびりできる時間	おだやかな	やさしい気持ちにしてくれる	高価な家具	静けさ	酒	忙しい仕事を終えた時
■43才：ゆとりとやすらぎ	豊か	人間的	貧乏眼なし	時間的な余裕	決められたシナリオ	充実感や達成感がみえた時
■55才：自分で物を考える時間	無心	自分の自由	会社で地位が高い	テーマ	義務感	人にじゃまされない

(●=女性 ■=男性)

●「生活風景」から考えてみよう

街にも家の中にもいろいろな風景がありますが、やはり人々の想いや存在感が伝わってこそ「生活風景」と呼べるものになるでしょう。つまり、モノも思いもアクションも、すべて込みで全体としての存在感を考えることが「生活風景」を考えることになるのです。どこか舞台のプロデューサーを思わせませぬ。

今回の調査では、ここに紹介している「明るい生活の素」以外にも、別の質問で自分の「半歩だけ豊かな暮らしのイメージ」を自由記述してもらっています。

その回答で目についたのが「ゆとりを楽しむ生活風景」でした。それも何もしないゆとりの風景ではなく、いろいろなことを存分にじっくり楽しんでいる風景です。その中には、さまざまな生活道具やモノ達の存在もうかがえます。ゆとりの欲求は決してモノを拒否しているわけではありません。むしろ「ゆとりの生活風景」を積極的に支えてくれるモノ達の出現を待っている、そんなふうに見えてしまいます。

●「生かす」という発想

今回の調査分析を行っていて、全体として強く感じたことがあります。それは生活者の回答の中に、自分自身も含めて今ある生活環境（状況）をもっと「生かしたい」という想いが強いことです。

世の中一般に伝えられている情報だけで生活者の生活像を考えるならば、厳しい不況と将来不安に窒息しそうな生活者ということになるでしょう。しかし、生活者自身が考える生活の豊かさ願望を読み解いていくと、不安から逃れるのではなく、むしろ不安の中に積極的に埋没して自分なりに豊かな生活にアプローチしていこうという「生かす」発想がベースになっていることに気がつきます。何か新しい局面がやってくることを、期待して待っているだけではないのです。

豊かな生活を実際に楽しんでいる身近な人を具体的に記述してもらった別質問で、仕事に余暇に学びにマルチで充実している、「コントロールが上手な人」といった回答が多かったことが印象的でした。

▼ 明るい生活の素 ～旅行編

(A) 明るい生活の素	(B) 得られる気持ち	(C) 一番の魅力点	(D) 対照的に思うものは	(E) 不足はダメ	(F) 過剰はダメ	(G) 最適な生活TPOは
●25才 : 世界旅行	ドキドキの意をしよう	感動がいっぱい	国内の高級店、高級ホテル	土地の人と、民衆	ビル	土地の人と遠くあえたと思う時
●26才 : 短期海外生活、海外一人旅	日常から飛び出した解放的な	未知との遭遇体験、刺激的	海外パッケージツアー	時間	日本人	日本でできない体験をした時
●28才 : 海外旅行	ぜいたくだけどシンプルな	視野が広がろう	テレビゲーム	ホテルの洗練度	観光地めぐり	のんびり、気持ちの豊かな時
●33才 : 年に一度の海外旅行	一年間頑張ったごほうび	自分の知らない文化に触れる	ゴルフやテニス	自由行動	参加人数	残業続きで疲れている時
●57才 : 旅	解放、自由	現実から離れ自分に戻る	カラオケ、ゴルフ	時間	計画	つらい、悲しい、憂鬱な時
●62才 : 友人グループとの旅行	心豊かになれる、生きている	山や海の景色	食べ歩き	お金	荷物	気が滅入っている時
●64才 : 海外旅行	ハイ (high)	知らない世界に出会える	宝石	現地の人との交流	スケジュール	歴史的建物や自然に出会えた時
●65才 : 仲の良い友人との旅	心広く豊かな	ローカル線の車窓の眺め	カラオケグループの集まり	下調べ	人数	身も心も元気な時
●65才 : 旅行	正直	実際に目で確かめられる	映画	時間	スケジュール	自分の足で歩く時
■36才 : 旅	開放的	何も考えなくてもよい	貴金属	自由時間	人	気持ちの良い天気
■37才 : 年に一度の海外旅行	励まし、仕事にやる気が起きる	リッチな気持ち、心やすめ	あそび	お金	スケジュール	忙しい自分に夢を見たい時
■48才 : 海外旅行	緊張からの解放、気楽	いろんな人との出会い、対話	カラオケ	旅行日数	旅行費用	予期せぬハプニングが起きた時
■49才 : ヨーロッパ旅行	さらによい仕事ができるよう	歴史や文化を直接肌で感じる	アジアへの旅行	お金	買い物ツアー	過去訪れた所がメディアに出た
■60才 : 年に数回の旅行	今まで生きてきてよかった	知らなかった風景、味に触れる	カラオケ、趣味の同好会	旨い食事、酒、温泉	観光客相手の土産物	四季折々の季節感を感じる時

(●=女性 ■=男性)

※こう読もう： Aで私は (B) な気持ちになれる。

Aは (C) などところが一番魅力で、(D) なんかよりもずっといい。

Aは (E) が足りなくても (F) が多すぎてもいけないが、(G) な時が最高だ。

●「料理の方法」を工夫しよう

人々の欲望はさまざまですが、興味深いのは、単にこんな高級な、便利なものが欲しいといった回答はあまりなかったということです。どんなに高級で便利なものであっても、自分の豊かな生活づくりに生かせないものやことには、あまり興味を持っていないように感じられるのです。かつての、モノを選ぶことで自己表現や他人との差別化を図っていた頃とは異なって、世の中の評価より自分にとっての有用性を優先する。モノ自体が人と無関係に持っている価値評価だけではピンと来なくなっているのです。

時代がどうであれ、自分にとっていいものは手に入れたと思うのが普通でしょうし、ましてや現在のよ様な経済状況では自分の生活様式を大幅に変更することは、コストの面からいっても難しいでしょう。従って外から見える限り、生活者の生活自体はほとんど変化がなく動かないように思えてしまいます。一見、何も生活が変わっていないようにみえるわけです。

しかし、生活者の豊かな生活への想いという気持ちのまな板の上に乗せてみれば、同じものも違った輝きを発揮しそうです。欲しいものといった欲望レベルでの回答では変わらなくみえても、料理の方法には工夫が必要なように思います。

●「す、す、す」の気持ちを刺激しよう

「す、す、すの生活」をどう受けとめるべきか、考えてみましょう。例えば21才の女性の明るい生活の素は絵を描くことです（趣味編）。自由に創造できることが魅力だということは、自分らしさが不可欠だし他人の意見が多くてもダメというところに表れています。ここまでだと、その魅力は自己表現だと考えるでしょうし、画材を中心とした表現の素材が直接のニーズ対象のように思ってしまう。

しかし、もう少しじっくり彼女の生活風景を考えてみると、活字による知識吸収を対照に置いていることや心寂しい時を最適TPOにあげていることに注目

▼ 明るい生活の素 ～仕事ほか編

(A) 明るい生活の素	(B) 得られる気持ち	(C) 一番の魅力点	(D) 対照的に思うものは	(E) 不足はダメ	(F) 過剰はダメ	(G) 最適な生活TPOは
●19才 : アルバイト	豊かで一生懸命な	お金が入る	遊ぶこと	自由な時間	責任	給料を受け取る時
●22才 : 知的好奇心	行動的な気持ち	生きることに前向きになる	ブランドハンティング	実際の行動	関心の幅	生きているのがいやになった時
●24才 : 会社生活	自分が役に立つ、嬉しい	つきあう人の幅が広がる	あまり勉強しない学生	仕事	仕事	打ち上げ会で陽気な時
●32才 : 自分の専門が生かせる仕事	能力が社会的に役に立ってる	ストイック	お金のためのパートやバイト	困難	制約	難しい局面を乗り越えた時
●35才 : 仕事	必要とされていると思える	お金もらって自分も磨ける	家出する内職	努力	ぐち	忙しくて忙しくて困る時
●36才 : 自分を高める勉強	すごく、すてき	自分の力をためす	お食中心の生活	時間	費用	淋しい時
●38才 : 外に出てパートすること	おだやかかつ優しく素直	人と接してストレス解消	専業主婦	お金	祖母のぐち	一人で家事に専念している時
●49才 : ボランティア活動	平和	一人でもできる	買い物	?	?	役に立っていると感じた時
●49才 : 専業主婦でいること	ゆとりのある豊かさ	お金はないが時間はたっぷり	手に職といえない少額パート	ヒマ	忙しい日	子供とゆっくり、食事や趣味で
●60才 : 好奇心と向学心	満ち足りた	終わりが無い、展望が開ける	積み重ねなき流される人生	目的意識	飾り、自己満足	尊敬できる友人と話し込む時
■23才 : 本を読むこと	理知的	達成感や満足感がある	テレビゲーム	作者の意見	満字	本を読む姿を他人に見られる時
■25才 : 仕事＝マルチメディアの知識	今までにない想像ができる	やろうと思えば何でもできる	金融などの仕事	大勢が参加する環境	政府などの規制	今までないシステムを考えた時
■30才 : お金	物質面で満足	世の中力で何でもできる	物	価値	疑惑	手が届かぬ物を欲しいと思う時
■34才 : 残業時間の減少	イライラ、ストレスからの解放	家族の顔を見て、食事する	出世、昇給	人、組織の見直し	スローガン	月金で家で食事ができる時
■43才 : 納得のいく仕事とゆとり余剰 自信、他者に寛容	達成感がある		ただ金が入るだけの生活	充実、燃焼、達成	ノルマばかり	仕事が順調にいかない時

(●＝女性 ■＝男性)

※こう読もう： Aで私は（B）な気持ちになれる。

Aは（C）なところが一番魅力で、（D）なんかよりもずっといい。

Aは（E）が足りなくても（F）が多すぎてもいけないが、（G）な時が最高だ。

きるでしょう。従って単なる自己表現ニーズというよりも、「すてきなひととき」願望で考える方がいいかもしれませんし、またそうであれば、そこに共存すべきモノも画材や美術系のモノだけではないこ

とはおわかりでしょう。このように「す、す、す」の気持ちを刺激することを考えて、ものを生活風景の中で再現してみましょう。気持ちによる再配置。これもいわば生活感覚のアフォーダンスなのです。

明るい生活の素 ～趣味編

(A) 明るい生活の素	(B) 得られる気持ち	(C) 一番の魅力点	(D) 対照的に思うものは	(E) 不足はダメ	(F) 過剰はダメ	(G) 最適な生活TPOは
●21才 : 絵を描くこと	楽しい	自由で創造性がある	活字による知識の詰め込み	自分らしさ	他人の意見	心が寂しくなった時
●25才 : スポーツ	すっきりさわやかで楽しい	実はいっぱい走っている	飲み会、カラオケ	上手い相手	やる気のない人	上手い人と絶対的な試合をした時
●25才 : パソコン	時代について行ってる	グラフもメールもできる	ワープロ	プリンター	使い方不明	インターネットする時
●25才 : ONGAKU	楽しい切ない甘い、いろいろ	思い出と密接	KARAOKE	インディーズ	メジャー	ひとりぼっちな時
●27才 : 茶道	たのしい	奥の深い	テレビゲーム	心	お金のかかること	気持ちがだれている時
●28才 : 読書や映画	ひととき夢のような	心豊かに、知識も増える	ビデオやテレビ	社会的配慮	暴力、性的描写	疲れていてゆとりがない時
●29才 : お菓子づくり	満足感いっぱい	いい加減だと失敗する	ごろ寝してテレビを見る	丁寧さと愛情	?	誰かがおいしく食べてくれる時
●31才 : ガーデニング	リラックスした平和	日々発見したり成長がみられる	映画や外出	日光	水	天気良くて心が癒れている時
●31才 : 園芸	無心	しゃべらない、静か	動くものやしゃべる人	花	雑草	日常の雑務を忘れた時
●34才 : お香	とてもリラックス	その日の気分にあわせられる	たばこをすう	香り	けむり	忙しい時や落ち込んでいる時
●36才 : パンづくり	幸せ	友や家族と味や香りを楽しめる	他のものを作ること	焼き	こげ	生活に追われ、ゆとりがない時
●38才 : 顔のエステ	リッチ	気持ちがよい	買い物	時間	お客さん	疲れている時
●37才 : カルチャースクール	イライラ解消、うるおいのある	自己啓発的	ストレス発散的な買い物	元気	経費	生活のメリハリが必要な時
●40才 : スポーツ	気分爽快	仲間と一緒に楽しめる	?	汗と大声を出す事	勝ち負けを考えすぎ	汗を流して気分転換できた時
●41才 : 映画	現実から抜け出て、幸せ	別世界にどっぷりとつかれる	くだらない本	しゃれたセリフ	うるさいギャグ	自分が主人公になったような時
●44才 : FMラジオ放送	ホット	いろんなジャンルの曲を流す	AMラジオ放送	曲数	おしゃべり	雨の日に一人で家にいる時
●48才 : クラシック音楽	リッチ	ゆうが	宝石など高いもの	味わい	パンチ	心が不安定な時
●49才 : 自然にふれあうこと	やさしい	雄大	学歴社会	マナー	アスファルトの道	悪天候
●49才 : 中国語講座受講	メリハリのある日々	頭を使う	井戸端会議、だらだらTV	予習復習	勉強にとられすぎ	中国人と仲良くなった時
●52才 : ラジオ	社会の中に生きてるという元気	直接話しかけてくれる	新聞	音楽	コマーシャル	シーンと寂しくなる時
●57才 : 趣味	長年つき合った友人のよう	価値観、共通の話題	井戸端会議	時間、センス	お金、スケジュール	友人と話が合わず一人の時
■20才 : 大好きな音楽	優しい	あまりお金がかからない	自己暗示	生楽器の音	エレキサウンド	心がつかれた
■21才 : バイク	生きててよかった	風と一緒にになれる	車	一体感	装備	誰もいない峠道を走っている時
■21才 : 体を動かす・サッカースノボ	リフレッシュ、爽快	汗をかく	音楽・読書	一緒にプレーする人	休憩	ストレスがたまった時
■24才 : 車	そう快	自分の空間がある	自転車	パワー	燃費	ドライブしている時
■26才 : 欲しい物のカタログを眺める	手に入れ、使う喜びを想像する	無理せず、いろいろ検討する	無理なローンで高い物を買う	詳しい情報比較	すぐ手に入る車	自分の理想の物に限りなく近づく
■27才 : 写真	幸せ	時間を越えた芸術	ビデオ	センス	光	撮りたいように撮れた時
■28才 : オートバイ	ハッピー	アナログ的(機械的)	車	遊び心	飾り	バイクを通じて人の輪ができる
■29才 : スポーツ	ビューア	汗を流せること	酒、タバコ、フーズク	虎の穴の心	オーディエンス	風呂に入っている時
■31才 : 芸術	純粋	非生産的	仕事	思想	現実	多忙
■32才 : 読書	豊かな	時と場所を選ばない	娯楽	リアリティ	フィクション	天気が悪い時
■34才 : アウトドアキャンプ	開放的	手作り感覚	中級以下のホテル	自由	サービス	家族サービスがおろそかな時
■34才 : 釣り	落ちついた、冷静	のんびりした一日がおくれる	飲んだり歌ったり	時間	人	つかれている時
■37才 : ウォーキング	哲学的	気楽	時間つぶし	世間を見る力	肩の力	時代の変化に疑問をもつ時
■39才 : ゴルフ	小さいことにこだわらない	自然の中でプレーできる	他のスポーツ	行く回数	費用	大きな仕事の前の気分転換の時
■41才 : 趣味を生かすこと(釣り)	豊かなゆとりとした	自然を相手にして考える	食欲の満足感	研究心や探求心	情報	仕事が多忙で休みがない時
■46才 : 休日の土いじり	とても楽しく幸せ	自分で野菜を作る楽しみ	行楽や、暇を持て余す	収穫	農薬	よい野菜を育てたとと思う時
■46才 : 日曜大工	楽しくてわくわくする	いろいろ考えて、オリジナル	仕事	アイデア	他人の意見	仕事などストレスが多いとき
■57才 : コンタクト・ブリッジ	サンドイッチ感覚になったよう	配られたカードがミステリアス	運動・スポーツ	人数	特殊なビョーティング	できそうにないハンドでスラム完成
■58才 : 陶芸	創造的で意欲がわく	窯出しの出来映え、意外性	読書	基礎と経験	小細工、精巧さ	ストレスがたまったような時
■59才 : パソコンでのインターネット	外国に出かけているよう	文書の迅速	コンピューターゲーム	通信速度	受信メール	手持ちぶさた



最近、マスコミからの、こんな問い合わせが増えてい
ます。「不況だというのに、売れている商品が結構、あり
ますよね。街を歩いていても、意外に暗い顔をしていな
いし、これって変ですよ、不況なのに」

何だか、売れている商品があることが「不況という世の
中」にタテついているようで「おかしい」というので
しょうか。こうした質問、とくに新聞記者に多いという
点が、ミソかも知れません。全体の流れで、すべてを
切ってしまうのです。マクロの数字は、確かにどこか
から見ても散々です。楽観できる材料はありません。た
だ、そこには、「す、す、す、の誤解」があるように思
われます。

誤解1：消費者は「すかんぴん」だ

失業率が上がっています。欧米なみの高失業率の時代にな
ってきました。しかし、9割以上の方は、職があるん
です。可処分所得は下がっていますが、お金が、すっか
らかんというわけではありません。タンス貯金だとか、
預金を積み増した結果、消費に回ってこないのが実状
です。高齢者のストックも大きい。主に中高年が持つ
ている1200兆円の1%を「引き出させる」と12兆円。政府
が景気対策につきこむ額に近い線が、ずっと消費市場に
出てきます。人々は決して「すかんぴん」ではありません。
激安で売れる状況は去りました。いいモノを、適切
な価格で提供される方が、消費者は動くようです。

誤解2：どこもかしこも「すべてダメ」

バブル崩壊直後、企業もどうい商品を出していいか
迷った時期があります。でも、90年代の半ばからは、い
い商品が出現しています。売れているコンピュータ、伸
びているクルマ、勢いのいいアパレル。どこの業界も、
ちょっとのぞけば、頑張っている企業と商品がありま
す。各業界の全体数字だけを見ていると、まっくらで
す。しかし、平均の伸びが横這いということは、全社が
平均値の成長ということではなくて、二桁近い伸びを示
すところもあれば、急激な落ち込みもあるということ。
それを均すと前年比100%の前後になるというわけ
です。マクロの視点は、ちょうど飛行機から見た風景。
まっくらな雲の下には、元気な活火山もあるんですね。

誤解3：打つ手はない程「すくい難い」

現状のすべてを政治のせいにするなら、確かに個別企業
としては、打つ手がありません。客観情勢が良くならな
いと何もできないという理屈です。しかし、かえって好
況の時よりも、モノの善し悪しは、くっきりと見えると
いう面があります。いい商品は、しっかりと伸びてい
る。打開策はないと、座視していると、工夫している企
業にどんどん負けてしまう。商品開発も、広告活動も、
不況の時期に、差が出るんですね。「す、す、す、の誤
解」は避けましょう。

★家族の調査年報を7月初旬に発刊します

七夕に☆社内説明会です 7月7日(火) 20階第2会議室 1:30~2:45

★社外向け説明会「テーマセンサス」も開催

7月9日(木) 新橋・第一ホテル東京(有料・ただいま参加者募集中/詳細は平工総務部長まで)

英語で読む生活新聞 from the hill 第4号発刊。希望者は6450へ



発行/博報堂 企画編集/博報堂生活総合研究所 (社内資料)
発行日/平成10年6月22日 電話03(3233)6450 担当: 荻迫

5月に改善された消費意欲指数、6月はまた過去最低に。詳細は [www://hakuhodo.co.jp/hill/](http://www.hakuhodo.co.jp/hill/)